

2022年6月28日

NTTアノードエナジー株式会社

### 三菱UFJ銀行へのオフサイトPPAによる再生可能エネルギー電力の提供開始について

NTTアノードエナジー株式会社（代表取締役社長：岸本 照之、本社：東京都千代田区、以下、NTTアノードエナジー）は、オフサイト型コーポレートPPA<sup>※1</sup>（以下、オフサイトPPA）の仕組みを活用し、NTTアノードエナジーが新設する太陽光発電所で調達する再生可能エネルギー由来の電力を、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員：半沢 淳一 本社：東京都千代田区 以下、三菱UFJ銀行）の東日本の40拠点に2022年7月から提供します。

#### 本提供のイメージ

NTTアノードエナジーが、オフサイトPPAの仕組みで太陽光発電所を新設し、送配電網を介して電力供給<sup>※2</sup>を行います。また、オフサイトPPAの太陽光発電だけでは不足する電力について、再生可能エネルギー発電所由来の非化石証書<sup>※3</sup>を付与することで、100%再生可能エネルギー使用を実現します。

これまでの非化石証書の付与のみにより行われていた本拠点での脱炭素の取り組みを、今回の追加性<sup>※4</sup>を伴う再生可能エネルギー導入によって、国内の脱炭素推進に貢献いたします。また、今回導入を行う拠点における温室効果ガス排出量の削減効果（非化石証書含む）は、年間約4,100トンとなる見込みです。



#### CO<sub>2</sub> 排出量削減に向けた取り組み

三菱UFJフィナンシャル・グループでは、「MUFGカーボンニュートラル宣言」を公表し、その中で2030年までに自社グループの温室効果ガス排出量のネットゼロ達成を目指しています。

NTTグループでは「NTT Green Innovation toward 2040<sup>※5</sup>」を公表し、2040年までにNTTグループでのカーボンニュートラルを目指すとともに、社会の環境負荷低減に向けて再生可能エネルギーの開発強化・導入拡大によりお客様のCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献していきます。

#### 今後の展開について

これまで両社においては、再生可能エネルギーファンドの創設<sup>※6</sup>などにより、環境問題などの社会的課題の解決に取

り組んでまいりました。今後も、NTT アノードエナジーは追加性を伴う再生可能エネルギーを提供することで、お客様の持続可能な事業活動を通じた企業価値向上に貢献します。

#### ※1 オフサイトPPA

コーポレート PPA（電力購入契約：Power Purchase Agreement）は、需要家が発電事業者から再生可能エネルギーの電力を長期に購入する契約です。オフサイト PPA はオフサイト型コーポレート PPA の略で、遠隔地の発電設備から送配電網を介して需要家（本件のケースでは三菱 UFJ 銀行の店舗ビル）へ送電するモデルです。

#### ※2 電力供給

本電力供給は、NTT アノードエナジーが子会社である株式会社エネット（小売電気事業者登録番号：A0009）の取次店として、サービスを提供します。

#### ※3 非化石証書

非化石証書とは非化石価値（高度化法の非化石電源比率算定時に計上できる価値）、ゼロエミ価値（温対法上の CO2 排出係数が 0kg-CO2/kWh である価値）及び環境表示価値（小売電気事業者が需要家に対して付加価値を表示・主張することができる価値）を有する証書です。主に天然ガス等の電源構成の電気と非化石証書を組み合わせて調達することにより、実質的に 100% 再生可能エネルギーを実現します。

#### ※4 追加性

追加性（additionality）とは、企業の選択した調達方法が再生可能エネルギーへの投資を促進し、化石燃料の代替に繋がっているものを表すもので、再生可能エネルギーの調達に積極的な企業の中で、重要視されています。

#### ※5 NTT Green Innovation toward 2040

[https://group.ntt.jp/ir/library/presentation/2021/pdf/210930\\_1\\_1.pdf](https://group.ntt.jp/ir/library/presentation/2021/pdf/210930_1_1.pdf)

事業活動による環境負荷の削減と限界打破のイノベーション創出を通じて、環境負荷ゼロと経済成長という相反する目的の同時実現をめざします。具体的には 2030 年度に NTT グループ全体の温室効果ガス排出量を ▲80%削減（2013 年度比）、2040 年度には NTT グループ全体でカーボンニュートラルの実現をめざします。また通信分野から様々な産業への IOWN の普及・拡大、カーボンニュートラルに貢献する新たなサービスの提供、再生可能エネルギーの開発強化・導入拡大により、自らのカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを社会へ拡大し、社会全体の温室効果ガス削減に貢献していきます。

#### ※6 再生可能エネルギーファンド創設に向けた事業運営会社への参画について

<https://www.ntt-ae.co.jp/pdf/press20210901.pdf>

NTTアノードエナジーは三菱UFJ銀行、大阪ガス株式会社、株式会社常陽銀行、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社百五銀行、三菱重工業株式会社、株式会社三菱総合研究所、株式会社ゆうちょ銀行とともに再生可能エネルギーに投資するファンドの創設に向けて事業運営会社「Zエナジー株式会社」に参画。

【本件についてのお問い合わせ】

NTT アノードエナジー株式会社 ビジネス推進本部

03-6738-3244